

輪

新潟大学附属特別支援学校
学校便り 第 518 号
令和 7 年 4 月 9 日発行



夢や希望に向かって挑戦できる学校を目指して

校長 大谷 誠

4月に入り寒い日が続いていましたが、桜のつぼみも少しずつ膨らみ始めました。前庭の景色も日に日に春めき、本格的な春の訪れを予感させます。

ご入学・ご進級した皆様おめでとうございます。始業式、入学式では、子供たちのきらきら輝く瞳に元気をもらいました。今年度は、小学部3人、中学部6人、高等部9人の合計18人の新入生を迎え、全校児童生徒61人でのスタートです。子供たち一人一人が夢や希望をたくさん持って、良い1年のスタートが切れるように支援していきます。

当校の教育目標は、目指す子供たちの姿を表しています。

- 進んでやろうとする子
- やさしく思いやりのある子
- 元気でじょうぶな子

「進んでやろうとする子」とは、自信を持って自分から取り組むことができる子供、「元気でじょうぶな子」とは、自ら心と体の健康を保持増進し、粘り強い意思と意欲をもった子供を意味しています。

また、「やさしく思いやりのある子」とは、豊かな感性や心情を身に付け、他を思いやることができる子供です。子供たちには、これらを二つのことにまとめ、次のように伝え続けていきます。

【「やさしく思いやりのある子」について】

一つ目は、「楽しい学校にしましょう」です。まずは自分を大切に、また自分と同じくらい友達も大切にして、いじめを許さない、安心して過ごせる学校にすること。みんなが仲良く、力を合わせたり、助け合ったりできる楽しい学校にすることです。毎日を楽しい学校にするために、皆で一緒に頑張りましょう。

【「進んでやろうとする子」「元気でじょうぶな子」について】

二つ目は、「夢や希望に向かって挑戦しましょう」です。新しい学年となったことをきっかけに、夢や希望を膨らませて目標を持つこと。その目標に向けて挑戦することです。失敗は成功のもと。失敗を恐れず、挑戦を大切に毎日張り切って学校に来てほしいです

お子さんの成長の喜びや頑張りを保護者の皆様と一緒に認め合える学校でありたいです。子供たち一人一人全員が目指す姿に近づけるよう、教職員一丸となって教育活動に努めてまいります。今後とも、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。